コクヨ サステナブル活動を本格化

体験型イベント開催
全社員の意識 サステナブルにシフト

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、全社員の意識をサステナブルにシフトする初の社内イベント「Ｓｕｓｔａｉｎａｂｌｅ Ａｃａｄｅｍｉａ ｗｅｅｋｓ（サステナブルアカデミアウィークス）」を10月３～18日まで、東京品川オフィス・大阪本社で開催するのをはじめ、サステナブルな取り組みを発信するウェブサイトの開設、全国の小学校を対象にしたノートのリサイクルのほか、サステナブルな商品やサービスも続々とリリース、コクヨの長期ビジョンの実現に向けたサステナブルな活動を本格化させている。

「Ｓｕｓｔａｉｎａｂｌｅ Ａｃａｄｅｍｉａ ｗｅｅｋｓ」は、東京と大阪の２拠点で、社員自身のサステナビリティへの理解を深めるために、「見て理解し学べる」美術館をイメージしたギャラリーをはじめ、遊びながらサステナビリティやマテリアリティを学ぶことができるコンテンツなど、様々な展示を行うイベント。社員全員が、５つの重点課題（ウェルビーイングの向上・社会価値創出に向けたマネジメントシステム改革・気候危機への対応・循環型社会への貢献・自然共生社会への貢献）を理解し、サステナブルな商品やサービスに繋がるアイデアの創出を目指す。

東京品川オフィスでは、黒田社長と、「オール・インクルーシブ経済圏」を目指しファッションブランドを立ち上げた、ＳＯＬＩＴ株式会社・田中美咲代表よる「インクルーシブデザイン」をテーマにした対談、福井正浩環境部会長執行役グローバルステーショナリー事業本部副事業本部長とＡｌｌ Ｂｉｒｄｓ合同会社・蓑輪光浩日本総括マネージングディレクター、オンラインコミュニティ「ごみの学校」を運営する寺井正幸氏による「循環社会」をテーマにしたトークショー形式のワークショップも開催。

また、完全に光を遮った暗闇の中で、多様な人と人が心を開く体験を通して、インクルーシブデザインの本質を学ぶ同社オリジナルの「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」や、ボードゲームを通して環境問題に触れる「ゴミゼロワークショップ」といった体験型コンテンツなどのイベントも実施。

全国の小学校を対象にしたノートのリサイクルは10月10日より開始。不要となったノートを回収し、再びノートの一部としてリサイクルすることで、子ども達が「捨てない」ことと「環境保全」のつながりを参加しながら学べる。資源循環や地球環境の保護について学べる出張授業等の教育コンテンツの提供も予定している。

同社のサステナブルな取り組みについて、サステナビリティ推進室長の梅田直孝執行役員は「事業を通して社会課題を解決し、世界中のステークホルダーから応援してもらえる存在になること。そのためには、社員全員が『どんな社会課題を解決するための事業をしているのか』『自分はそのために何をするべきなのか』を考える状態を作ることが不可欠。今後、社員一人一人の意識をサステナブルにシフトさせ、コクヨらしいサステナブル経営に向けた取り組みを加速させていく。そして、コクヨが掲げるパーパス『ワクワクする未来のワークとライフをヨコクする。』の実現を目指す」とコメントしている。

コクヨグループは2022年に長期ビジョンとあわせ、未来シナリオとパーパスを制定し「自律協働社会の実現に向け、ワクワクする未来のワークとライフをヨコクし、事業を通じて持続可能な社会を牽引していく」というサステナブル経営指針を策定している。また、それに対し「ウェルビーイングの向上」「社会価値創出に向けたマネジメントシステム変革」「気候危機への対応」「循環型社会への貢献」「自然共生社会への貢献」といった5つの重点課題を掲げ、2030年に向け野心的に目指すチャレンジ目標と2024年の中期経営計画単位での実現を目指すコミット目標を設定している。

サステナビリティ推進室長の梅田直孝執行役員

TRADE MARK
月印紙製品
株式会社ヤマガタ

自由に いつかは アルバム整理
12月5日は「アルバムの日」
デジタルカメラやスマホで撮りためた思い出の写真をアルバムにしましょう!!
ALBUM'S DAY

将来の女性リーダーを育成

○…三菱鉛筆株式会社（数原滋彦社長、東京都）は、この夏に開催された「異業種ビジネスリーダーシップ塾2023」の第1回プログラムに参画した。

当日は、様々な業種の企業13社から将来のリーダーとして期待される約70名の女性中堅社員が参加し、基調講演やパネルディスカッションでビジネスリーダーについて学びを深め、グループワークなどに取り組み、同社からは3人の女性社員が参加した。

同社は、「違いが、美しい。」という理念のもと、共に働く人々の成長意欲をより高め、個人と会社が共に成長することを育成方針として人材育成に取組んでいる。

個人と会社が共に成長することを狙いとした人事研修として、異業種ビジネスリーダーシップ塾・異業種派遣型研修などを今後も引き続き積極的に実施する。

クリエイターの創作活動を応援

○…パイロット

株式会社パイロットコーポレーション（伊藤秀社長、東京都）は、手書きの楽しさ、喜びを伝えるために「かく（書く・描く）こと」に関する様々な情報を発信するウェブメディア「かく、がスキ」に、クリエイターの創作活動を応援する新しい試みとして「創るにエール！」（URL：https://www.pilot.co.jp/media/yell/）を9月8日に開設した。

新コンテンツの「創るにエール！」では、創作過程において「かく」ことを取り入れていることを前提に、「自身の創作活動を広く発信していきたい」というクリエイターを広く公募し、「かく、がスキ」のサイト上にて創作活動を紹介する。活動のジャンルは問わず、作品を展示会やイベント、自身のウェブサイトやSNSで発信している人なら誰でも応募できる。

国内最大級のアートとカルチャーの祭典に出展

○…サクラクレパス

株式会社サクラクレパス（西村彦四郎社長、大阪市）は、10月6～9日、東京・天王洲運河一体で開催される国内最大級のアートとカルチャーの祭典「ＭＥＥＴ ＹＯＵＲ ＡＲＴ ＦＥＳＴＩＶＡＬ２０２３『ＴＩＭＥ ｔｏ Ｃｈａｎｇｅ』」に出展した。

このイベントは、ユーチューブのアート専門番組を中心に、ＥＣやフェスティバルなどを複合的に展開するアートプロジェクトで、「新たな手法で、多くの人へアートに触れるきっかけや、特に若手のアーティストを知る機会を創出すること」を目指している。

アートを軸に、音楽・食・ファッション・ライフスタイルなどの隣接した力ルチャーを一堂に会することで、領域を超えてそれぞれのカルチャーの魅力に気付きを生み出すとともに、アートに対する新しい出会いや発見を促す、領域横断型のアートフェスティバル。昨年初めて開催し、３日間で約３万人を動員した。

第２回目となる今年は更に規模を拡大し、４日間にわたり寺田倉庫を中心とした東京・天王洲運河エリア一帯で開催。アートエキシビジョン・２つのアートフェア・ライヴパフォーマンス・トークセッション・マーケットなどが６つの会場で同時に行われ、フェスティバル全体で１００人を超える気鋭のアーティストが参加した。

東京・戸塚に初の集合住宅

○…コクヨ

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、東京・戸越のコクヨ社員寮をリノベーションした集合住宅「ＴＨＥ ＣＡＭＰＵＳ ＦＬＡＴＳ ＴＯＧＯＳＨＩ（ザ・キャンパス フラッツ トゴシ）」を、東京都・戸越に9月1日オープンした。

施設は全39戸の賃貸住宅と、「いつかやりたかったこと」を試せる8つのスタジオ、フードスタンドを併設。スタジオとフードスタンドは、入居者以外も利用可能な街に開かれたスペースとして運営し、街の活性化にも貢献する。

同社では今回を皮切りに、様々な街で集合住宅の展開を計画している。

折れない・割れない・サビない
匠の技
チタン製 ツーウェイ耳かきブラック
極薄極細仕上げ
日本仕上げ
便利なケース付き
滑らずゴッソリ取れる
取れた耳垢がよく見える
美しい暮らしを創る装蹄利器刃物
グリーンベル
https://www.greenbell.ne.jp/